

杉劇ひばいの日 2023

ギャラリー展

～ひばいさんと名優たち～

期間 2023 6/23(金)～6/27(火)

時間 10:00～17:00(初日は12:00から 最終日は16:00まで)

会場 磯子区民文化センター杉田劇場 4階ギャラリー

入場料 無料



昭和21年3月、市電「杉田停留所」の近くにあった旧杉田劇場に加藤喜美枝・和枝親子がやってきた。目的は8歳の和枝(のちの美空ひばり)に舞台上で歌わせてほしいというお願いだった。最初は幕間の休憩時間中に緞帳前で歌っていたが、彼女の才能を認めたプロデューサー鈴木義二が専属楽団をつくらせ、美空一枝という芸名を付けて正式に舞台に乗せた。これが美空ひばりの初舞台である。

昭和24年、ひばり11歳の時に「のど自慢狂時代」で映画デビュー。9月には「悲しき口笛」で初の主役。その後は短期間で大スターになっていき、レコード、映画、舞台にと大活躍をした。平成元年6月24日死去。その命日を挟む5日間、お宝写真や資料をもとに若いころのひばりを振り返る。

主催：横浜市磯子区民文化センター杉田劇場

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス共同事業体)

電話：045-771-1212 FAX：045-770-5656 メール：sugigeki@yaf.or.jp

特別協力：株式会社ひばりプロダクション



昭和28年 ひばり御殿にて 父母・妹・弟・叔母の克子さん



ひばりの父親・加藤増吉さんと肩を組む鶴田浩二さん



昭和29年 映画「伊豆の踊子」で主演 一高生役は石浜朗

美空ひばりは昭和12年5月29日(土)、横浜市磯子区滝頭で鮮魚店「魚増」を営む加藤増吉・喜美枝の長女として生まれました。

その初舞台については上大岡の風呂屋、神社の神楽殿など諸説ありますが、「劇場」と名の付く施設に出演したのは、昭和21年3月の旧杉田劇場が初めてでした。

それから1年も経たないうちに、彼女は新聞紙上をにぎわし、翌年には県内各地の劇場に出演することになります。

本ギャラリー展では美空ひばりと共演した名優たちとのスナップ写真や「ひばりちゃん日記」に書かれた出来ごとを裏付ける写真などと共に、映画「伊豆の踊子」で使った太鼓や萬屋錦之助と交換した下駄などを展示します。

また、新しく発掘されたモノクロ写真をAIによってカラー化したものもご覧いただけます。



太鼓を背負った薫役の美空ひばり



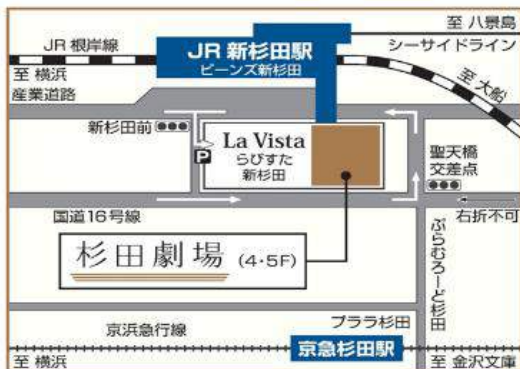
昭和21年1月1日にオープンした旧「杉田劇場」。同年3月に加藤和枝ちゃんが、美空一枝の芸名でこの舞台を踏んだ。



撮影現場にて語り合うひばり



お手伝いさんが作った洋服を着て



- JR 根岸線・シーサイドライン「新杉田駅」下車 徒歩3分。ビーンズ新杉田2階を抜けて歩道橋を渡り、らびすた新杉田へ。入り口左手のエレベーターで4階へ。
- 京浜急行「杉田駅」下車 徒歩5分。ぷらむろーど杉田商店街を抜け、らびすた新杉田1階へ。エスカレーターを乗り継ぎ4階へ。

横浜市磯子区民文化センター杉田劇場
〒235-0033 横浜市磯子区新杉田1-1-1
TEL 045-771-1212
FAX 045-770-5656
URL <https://www.sugigeki.jp>